

一般質問

「みんなの森 ぎふメディアコスモスのポータルミュージアム化について」

【質問者:議員10 議員】

本年秋に実施されました文教委員会の行政視察において、青森県八戸市にあります、市民活動交流施設、「ポータルミュージアムはっち」を訪問いたしました。ポータルというだけあって、さまざまな市民活動の拠点となっているほか、隣接地には広場、その隣には市が経営する書店が立地するなど、新たなまちのホットスポットになっています。

岐阜市に置き換えるならば、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」であり、メディアコスモスにこそ、ポータルミュージアムとしての機能強化が、次のステージで求められるのではないかと思います。

【質問者:議員11 議員】

その根拠は、何と言っても洗練された建物のデザインやユニークな図書館運営などに裏付けられた形で、来館者が当初予定の年間100万人を大きく上回り、市民の皆さんはもちろん、市外、県外、はたまた海外からも支持を得られている実績があるからです。

開館から4年が経過しましたが、ポータルミュージアムとしての機能強化を検討してもよい段階に来ているのではないかと、提案したいと思います。

【質問者:議員12

議員】

具体的には、メディアコスモス2階の中央図書館のグローブの一角に
あります、「みんなのたからものMAP」というコーナーの機能を全館、
エリアも全市に広げることです。来館者からいただいた岐阜市のお勧め
スポットのアンケートをもとにカフェ、喫茶店、洋菓子店等を紹介する
もので、岐阜市にお住まいの方はもちろん、転居や出張で岐阜に来たけ
れど、まちのことは全然知らないという方のために始められております。

【質問者:議員13

議員】

先に触れました八戸市の「はっち」においては、紹介だけでなく、実
際に利用者が推薦するお店で売られている商品を館内で販売するコーナ
ーも設けられています。こうした取り組みも大いに参考にしながら、名実
ともに岐阜市のポータルミュージアムとなっています「メディアコスモ
ス」にこうした取り組みを全市的に広げるポンプのような機能があつて
もよいのではないかと考えます。今後、既存の観光案内所に、市民や来
館者の皆さんが持つ情報をストックして、広く発信し、市民や岐阜市を
訪れた皆さんに還元されるポータルコーナーの開設を提案したいと思
います。市民参画部長の考えをお尋ねしたいと思います。

【答弁】 市民参画部長

【答弁者： 市民参画部長1】

「みんなの森 ぎふメディアコスモス」のポータルミュージアム化、今後の展開に関するご質問にお答えをいたします。

「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、2019年7月には、開館からの来館者数が500万人を超え、幅広い世代に親しまれ、大変にぎわっております。

御案内のとおり、「ぎふメディアコスモス」は、本市の知、絆、文化の拠点となる施設として、市民協働社会形成の一翼を担うとともに、にぎわいの創出を図ることをコンセプトとした施設であります。

【答弁者： 市民参画部長2】

このコンセプトを実現する取り組みとして、柳ヶ瀬など中心市街地に配置した各ポイントを周遊し、「ぎふメディアコスモス」へ来館いただくスタンプラリーなどの事業を実施してまいりました。

また、2階の中央図書館では本を介し、図書館と人、まちをつなげようと、まちのカフェやギャラリーなどの一角に商店主の皆様みずから本棚を置き、本の貸し借りを行う「ぎふまちライブラリー」や、議員ご案内のお勧めのお店を紹介する、「みんなのたからものMAP」の作成に

取り組んでいるところです。

【答弁者： 市民参画部長3】

今後、新庁舎しんちょうしゃが開庁かいちょういたしますと、両施設りょうしせつの相乗効果そうじょうこうかにより、さらに多くの皆様にご利用いただけることが見込まれ、施設整備時しせつせいびじのコンセプトである賑わいにぎの創出そうしゅつを含め、その機能じゆうじつの充実いっそうが一層求められるものと考えております。

今後はさらに、「ぎふメディアコスモス」に集つどう方々の考え方や活動にフォーカスし、また、そうした方かたが持つ、コト、モノ、場所等の情報をストックするとともに、その情報を広く発信し、より多くの皆様に還元かんげんされるようなアプローチが重要であり、八戸市はちのへしの事例も参考としながら、「ぎふメディアコスモス」の大きな賑わいにぎを中心市街地、そして、市全体はきゅうへと波及させるような取り組みを図ってまいりたいと考えます。